

私のふくい探訪

故郷
福井への
恩返し

昨年の春頃だと思えますが、同じく福井県出身の伊藤忠商事小林会長から、「福井県がふるさと教員制度を始めるので、敦賀高校で講演してほしい」との電話をいただきました。高校卒業後故郷を離れ、何もできないまま悶々としていた時期でもあり、少しでも故郷への恩返しができるばとの思いから、お受けすることにしました。

テーマは、敦賀という土地柄や私が石油関係の仕事に従事してきたことから当時国レベ

ルでの検討課題であった我が国のエネルギー問題について3回にわたり「授業」を行いました。1回目はエネルギー問題を検討する際のポイントや私の経験、東日本大震災での体験などを講演風にお話ししましたが、2回目からは一方通行の講演より双方向の議論の方が面白いと考え、チームに分かれたプレゼンテーション形式に切り換えました。

「福井県としてエネルギー問



JXホールディングス株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

うちだ ゆきお
内田 幸雄

1951年坂井市三国町生まれ。
1973年京都大学法学部卒業後、
日本鉱業(株)入社。2010年JX日
鉱日石エネルギー(株)取締役専務
執行役員、2014年6月 JXホー
ルディングス(株)取締役副社長執
行役員、2015年6月より現職。

題に寄与できることは何か」または「我が国全体を見据えてエネルギーはどうあるべきか」のテーマで、9チームがプレゼンテーションを行ないましたが、限られた時間の中で、適切な資料収集とそれに基づく自分たちの分析、仮説、提案がとりまとめであり、メンバー同士で真剣に取り組み、議論したことが感じられました。

我が国のエネルギー問題は、国民経済、地政学の問題、安全

保障、地球環境問題、安全性の問題等の複雑な要素を抱え、一朝一夕に解決できる課題ではありませんが、将来を担う若い高校生たちがエネルギー議論の渦中にある敦賀の現状をしっかりと受け止め、真正面から取り組んだプレゼンテーションに感銘を受けました。高校生として勉強し、自らの中に色々な知識、考え方を蓄積して、将来は社会人として自らの考えに基づき色々なことにチャレンジしていくことを心から願っております。

「故郷への恩返し」どころか私自身が本当にやってみよう、たとの充実感を与えてもらい、今は敦賀高校の41名の生徒さんたちに深く感謝している次第です。

エネルギーとこと

太陽光・風力発電などの再エネは、エネルギー源を多角化する観点から積極的に導入する必要がありますが、発電コストの面で課題もあります。経済性とのバランスのとれた開発を進めることが大切です。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回掲載は

野路 國夫氏 7月20日(月)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。
ご了承ください。